



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日

上場会社名 竹田印刷株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7875 URL http://www.takeda-prn.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 眞一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長 (氏名) 井川 誠 TEL 052-871-6351
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	16,716	△3.9	151	△45.7	189	△41.6	129	△44.9
30年3月期第2四半期	17,402	7.3	279	21.5	324	28.8	235	56.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 189百万円 (△46.5%) 30年3月期第2四半期 353百万円 (93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	16.07	—
30年3月期第2四半期	29.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	31,336	15,817	50.1	1,941.77
30年3月期	32,129	15,687	48.4	1,933.67

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 15,697百万円 30年3月期 15,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
31年3月期	—	8.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

30年3月期の期末配当11.00円には、東証第二部上場記念配当4.00円を含む。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	2.9	850	10.7	900	13.4	650	13.7	80.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 __社（社名）、除外 __社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	8,781,000株	30年3月期	8,781,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	696,846株	30年3月期	731,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	8,058,908株	30年3月期2Q	8,049,249株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善傾向となり、設備投資意欲も高まるなど緩やかな回復基調が続いております。一方、米中貿易戦争が現実のものとなり、世界経済に与える影響が懸念されており、先行きは引き続き不透明な状況です。

このような状況の中、当社グループが主力としております国内の印刷業界につきましては、前連結会計年度から悪化が顕著となりました紙媒体の縮小、競争の激化、価格の低迷という構図が、当第2四半期連結累計期間においても継続する大変厳しい状況にあります。

そのような状況の下でも業績を向上させるべく、当社グループにおきましては、売上の確保、コスト・経費の削減はもちろんのこと、顧客にとっての価値を創出する、または増大させる課題解決（ソリューション）提案、すなわち安易な価格競争に巻き込まれないビジネスモデルへの移行に注力してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は167億16百万円（前年同期比3.9%減）となりました。利益面では、営業利益1億51百万円（前年同期比45.7%減）、経常利益1億89百万円（前年同期比41.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億29百万円（前年同期比44.9%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

(印刷)

印刷事業では、紙媒体が縮小し価格の低迷が続く大変厳しい状況の下、生産性向上やコスト削減活動に加え、WEBやシステム開発などのデジタル対応を強化するとともに、ロジスティクス、顧客ニーズに沿ったシステム設計、データ収集・分析、事務局運営などを組み合わせた、顧客の課題解決にフォーカスした活動に注力致しましたが、主力である商業印刷物の落ち込みが顕著でした。

一方、半導体関連マスク事業では、車載機器・スマートフォン・タブレット端末向け等の電子部品の好調により、引き続き、売上・営業利益共に好調を維持しました。

上記の結果、印刷セグメントの売上高は110億82百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は81百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(物販)

物販事業では、コスト低減や品質・環境性能を向上させた商品の提案、自社ブランド機械の販売強化、新規顧客獲得活動などを精力的に行いました。資材販売では減収となりました一方で、機械販売では、当初の想定より遅れておりましたものづくり補助金制度の適用審査が進み、本制度を活用した設備投資需要の取り込みに注力いたしました。また、体制強化のための人件費、販売促進に向けたイベント出展費、研究開発費等が増加致しました。

上記の結果、物販事業の売上高は63億26百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は73百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び預金は増加致しましたものの、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ7億92百万円減少し、313億36百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少、その他の流動負債（うち営業外電子記録債務）の減少などにより、前連結会計年度末に比べ9億22百万円減少し、155億18百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加し、158億17百万円となり、自己資本比率は50.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億24百万円増加し、53億79百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加3億9百万円、仕入債務の減少4億97百万円に対し、税金等調整前四半期純利益1億89百万円、売上債権の減少13億45百万円や減価償却費4億40百万円などがあつたため10億22百万円の収入（前年同期は10億48百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入1億51百万円があつたものの、固定資産の取得による支出4億45百万円などがあつたため、2億65百万円の支出（前年同期は4億16百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少(純減)50百万円、長期借入金の減少(純減)52百万円、リース債務の返済による支出1億90百万円、配当金の支払額88百万円に対し、セール・アンド・リースバックによる収入4億57百万円などがあったため、71百万円の収入(前年同期は3億71百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成31年3月期の業績予想は、平成30年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,842	5,668
受取手形及び売掛金	9,372	7,966
商品及び製品	469	501
仕掛品	268	511
原材料及び貯蔵品	221	256
その他	1,287	592
貸倒引当金	△83	△77
流動資産合計	16,380	15,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,410	3,509
機械装置及び運搬具(純額)	632	568
土地	6,138	6,138
リース資産(純額)	1,348	1,605
建設仮勘定	83	87
その他(純額)	179	173
有形固定資産合計	11,793	12,083
無形固定資産	208	195
投資その他の資産		
投資有価証券	2,619	2,532
繰延税金資産	525	491
その他	740	751
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	3,747	3,639
固定資産合計	15,749	15,918
資産合計	32,129	31,336

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,322	4,041
電子記録債務	2,856	2,615
短期借入金	870	820
1年内返済予定の長期借入金	352	324
リース債務	303	334
未払法人税等	118	77
賞与引当金	470	426
その他の引当金	24	12
その他	1,434	969
流動負債合計	10,754	9,620
固定負債		
長期借入金	1,169	1,144
リース債務	1,066	1,294
長期未払金	144	167
退職給付に係る負債	3,057	3,027
資産除去債務	197	199
その他	51	64
固定負債合計	5,686	5,897
負債合計	16,441	15,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937	1,937
資本剰余金	1,793	1,800
利益剰余金	11,757	11,798
自己株式	△538	△512
株主資本合計	14,950	15,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835	861
為替換算調整勘定	18	11
退職給付に係る調整累計額	△239	△200
その他の包括利益累計額合計	614	673
非支配株主持分	123	120
純資産合計	15,687	15,817
負債純資産合計	32,129	31,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	17,402	16,716
売上原価	14,134	13,638
売上総利益	3,267	3,078
割賦販売未実現利益戻入額	0	0
差引売上総利益	3,267	3,078
販売費及び一般管理費	2,988	2,927
営業利益	279	151
営業外収益		
受取配当金	29	23
受取賃貸料	8	8
貸倒引当金戻入額	9	13
その他	17	25
営業外収益合計	65	71
営業外費用		
支払利息	13	14
賃貸費用	1	14
その他	5	3
営業外費用合計	20	33
経常利益	324	189
特別利益		
固定資産売却益	0	16
投資有価証券売却益	59	39
特別利益合計	59	55
特別損失		
固定資産処分損	6	29
投資有価証券評価損	0	17
投資有価証券売却損	2	—
その他	2	9
特別損失合計	12	56
税金等調整前四半期純利益	371	189
法人税等	132	58
四半期純利益	239	130
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	235	129

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	239	130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	26
為替換算調整勘定	△1	△6
退職給付に係る調整額	42	39
その他の包括利益合計	114	58
四半期包括利益	353	189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349	188
非支配株主に係る四半期包括利益	4	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	371	189
減価償却費	406	440
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△43
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	27
受取利息及び受取配当金	△31	△25
支払利息	13	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	17
投資有価証券売却損益 (△は益)	△56	△39
固定資産除売却損益 (△は益)	6	12
売上債権の増減額 (△は増加)	517	1,345
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△265	△309
仕入債務の増減額 (△は減少)	198	△497
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22	△17
その他	48	△15
小計	1,167	1,092
利息及び配当金の受取額	31	26
利息の支払額	△13	△14
法人税等の支払額	△136	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,048	1,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9	△9
定期預金の払戻による収入	-	7
固定資産の取得による支出	△507	△445
固定資産の売却による収入	0	30
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	102	151
貸付けによる支出	△4	△1
貸付金の回収による収入	3	8
その他	2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△416	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△50
長期借入れによる収入	200	150
長期借入金の返済による支出	△396	△202
リース債務の返済による支出	△106	△190
セール・アンド・リースバックによる収入	-	457
配当金の支払額	△64	△88
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371	71
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	258	824
現金及び現金同等物の期首残高	4,189	4,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,448	5,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区別に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	11,255	6,146	17,402	—	17,402
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	350	353	△353	—
計	11,258	6,497	17,755	△353	17,402
セグメント利益	99	169	269	10	279

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	11,078	5,638	16,716	—	16,716
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	688	692	△692	—
計	11,082	6,326	17,409	△692	16,716
セグメント利益	81	73	155	△3	151

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。